

2021年3月期 第2四半期決算説明会（2020年11月10日開催） 質疑応答 要旨

Q1. Staffing SBU の下期の営業利益予想について

A1. 下期は上期と比較し利益率が低下する見込みとなっています。主な要因としては、同一労働同一賃金の導入により、派遣スタッフへの通勤交通費を含めた支払いが増加したことによる社会保険料の増額が下期に見込まれることや、今後経済活動が活発化することにより、派遣スタッフの有給休暇取得が増加すると考えられること、継続的な成長を見据えた募集広告等の投資の実施等が挙げられます。

Q2. Career SBU の今後の見通しと戦略について

A2. 緩やかに回復し、今期末の売上水準は前期比 8 割程度まで戻ると想定しています。今後の戦略としては、テクノロジー投資を進めて生産性向上を図り、人に依存しないビジネスモデルに転換させていく一方、人の介在価値の高い領域には適切にリソースを配分する方針です。

Q3. Asia Pacific SBU において、減損損失が発生する可能性について

A3. 今後の戦略やビジネス環境を鑑みて達成可能と考えられる来期以降の事業計画を作成しており、現時点においては、減損損失発生の可能性は低いと考えております。

Q4. 配当方針について

A4. 今回、配当性向型へ転換することとし、調整後 EPS の 25%の配当を基本方針としています。今後、当該基本方針に則って配当金額を算出し、株主還元を強化していきたいと考えています。

Q5. キャッシュアロケーションの成長投資について

A5. M&A に関しては、成長領域と位置付ける Professional Outsourcing SBU に中心に実行する方針です。実行にあたっては先般新たに設置した投資委員会にて投資判断の審議を行い、モニタリングを適切に行います。設備投資に関しては、従来は老朽化対応や保守等に割いている割合が大きかったのですが、今後は、これまで投資をしてこなかった HR Tech 等のようなテクノロジー投資に新たに投資を進めていきたいと考えています。